



平成24年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年9月30日

上場会社名 ケイティケイ株式会社 上場取引所 大  
 コード番号 3035 URL http://www.ktk.gr.jp/  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)伊藤 主計  
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理部長 (氏名)木村 裕史 (TEL)052-931-1881  
 四半期報告書提出予定日 平成23年10月3日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年8月期第1四半期の連結業績(平成23年5月21日～平成23年8月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年8月期第1四半期	2,071	△3.9	△23	—	△24	—	△18	—
23年5月期第1四半期	2,155	△5.4	△6	—	△8	—	△10	—

(注) 包括利益 24年8月期第1四半期 △18百万円(—%) 23年5月期第1四半期 △11百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年8月期第1四半期	△4.97	—
23年5月期第1四半期	△2.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年8月期第1四半期	4,222	2,020	47.9
23年5月期	4,250	2,064	48.6

(参考) 自己資本 24年8月期第1四半期 2,020百万円 23年5月期 2,064百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年5月期	—	7.00	—	7.00	14.00
24年8月期	—	—	—	—	—
24年8月期(予想)	—	4.00	—	6.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年8月期の連結業績予想(平成23年5月21日～平成24年8月20日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,381	1.0	23	△55.4	20	△57.9	6	△67.1	1.80
第4四半期(累計)	8,885	2.2	89	81.9	82	86.1	37	101.4	10.42
通期	11,109	—	103	—	94	—	44	—	12.14

(注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2 決算期の変更(5月20日を8月20日)に伴い、当期は平成23年5月21日から平成24年8月20日までの15か月の  
 変則決算となります。このため通期の増減比率については、比較対象となる金額がありませんので開示して  
 おりません。

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 社 ( )、除外 社 ( )

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

24年8月期1Q	3,675,000株	23年5月期	3,675,000株
24年8月期1Q	37,715株	23年5月期	37,715株
24年8月期1Q	3,637,285株	23年5月期1Q	3,637,371株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

#### ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・業績予想につきましては、本資料の発表日現在における入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としております。実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
	(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
	(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
	(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2.	サマリー情報(その他)に関する事項 .....	4
	(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
	(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
	(3) 会計方針の変更・会計上の見積の変更・修正再表示 .....	4
	(4) 追加情報 .....	4
3.	四半期連結財務諸表 .....	5
	(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
	(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
	(4) セグメント情報等 .....	9
	(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間(平成23年5月21日から平成23年8月20日まで)におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあるものの、輸出や個人消費に関して持ち直しの動きがみられました。しかしながら、依然として続く円高や海外の経済減速等の影響により景気の先行きが懸念される状況が続きました。

このような中で、当社グループを取り巻く経営環境は、企業の業況判断に東日本大震災の影響による厳しさが残るなど、企業経営の慎重さがみられ、引き続き企業の消耗品使用量の節約と大型のIT投資抑制が続いている状況にあります。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,071百万円(前年同四半期比3.9%減)となりました。営業損失は23百万円(前年同四半期は6百万円の営業損失)、経常損失は24百万円(前年同四半期は8百万円の経常損失)、四半期純損失18百万円(前年同四半期は10百万円の四半期純損失)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (サプライ事業)

当社グループの主力商品であるリサイクル商品(リパクトナー)は、競合各社との厳しい競合状況の中、販売本数が前期比99.8%と微減したことと販売単価の下落にて、売上高は減少いたしました。

OAサプライ商品は、新品トナーカートリッジを中心にPPC用紙及びオーダー用紙などのOA関連紙製品の販売量が落ち込み、売上高は減少いたしました。

その他商品においては、当社グループ独自のWeb購買システム「ケイティケイ はっするネット」の導入件数の増加により、一般事務用品などの売上高が増加するとともに、企業向けに販売している電化製品の売上高も増加いたしました。

これらの結果、売上高は2,003百万円(前年同四半期比4.4%減)、セグメント損失(経常損失)は28百万円(前年同四半期累計期間は5百万円のセグメント損失)となりました。

#### (ソリューション事業)

IT商品は、企業のセキュリティ関連の大型の投資抑制を受けているものの、高付加価値型のASP総合サービス「@Securemail」シリーズの提供が好調に推移し、売上高は増加いたしました。

これらの結果、売上高は68百万円(前年同四半期比14.6%増)、セグメント利益(経常利益)は3百万円(前年同四半期累計期間は2百万円のセグメント損失)となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ27百万円減少し、4,222百万円となりました。

流動資産は、受取手形及び売掛金が34百万円増加いたしましたが、現金及び預金が105百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ27百万円減少の2,427百万円となりました。固定資産は、投資その他の資産が16百万円増加いたしましたが、有形固定資産が9百万円、無形固定資産が6百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べほぼ同額の1,794百万円となりました。

流動負債は、賞与引当金が41百万円発生いたしました。未払法人税等が20百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べほぼ同額の2,046百万円となりました。固定負債は、前連結会計年度末に比べ15百万円増加の154百万円となりました。

純資産は、利益剰余金が43百万円減少したこと等により前連結会計年度末に比べ44百万円減少の2,020百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の経済状況につきましては、電力供給の制約や原子力災害が生産活動に及ぼす影響、またさらなる円高や海外の経済情勢の先行き不安などが懸念されるものの、サプライチェーンの急速な回復や震災復旧の政策効果により景気が持ち直していくことが期待されます。

このような中での当社グループは、企業の消耗品購入費用の削減並びに購買効率の改善ニーズに対して、引き続きリサイクル商品の拡販と当社グループ独自の購買システム「ケイティケイ はっするネット」の導入の推進に注力いたします。IT商品においては、引き続きASP総合サービス「@Securemail」の提案を行い、お客様に付加価値の高い商品を提供するとともに、東日本大震災以降、各企業で構築が急がれているBCP(事業継続計画)の重要課題である災害復旧(ディザスタリカバリ)対策ニーズに対応し重要データの保全と共有を可能にするサービス「ActCLOUD DR Storage」の提供に注力してまいります。

また、当社グループの販売網強化の一環として、引き続き「ケイティケイ はっするネット」のFC(フランチャイズチェーン)の展開も推進してまいります。

以上により、平成24年8月期の連結業績予想につきましては、平成23年6月30日に発表いたしました連結業績予想に変更はありません。

なお、当社グループは平成23年8月10日開催の第40期定時株主総会決議により、決算期を毎年5月20日から毎年8月20日に変更いたしました。このため、当連結会計年度は平成23年5月21日から平成24年8月20日までの15か月間の変則決算となっております。

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

《簡便な会計処理》

#### ①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

#### ②たな卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計年度末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、前連結会計年度末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

#### ③固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

#### ④経過勘定項目の算定方法

合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

#### ⑤法人税並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断については、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化が生じておらず、一時差異等の発生状況に大幅な変動がないと認められるため、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

### (4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の変更)

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年 5 月20日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成23年 8 月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	899,975	794,805
受取手形及び売掛金	1,288,509	1,322,780
有価証券	20,963	20,967
商品及び製品	144,144	147,226
仕掛品	1,470	1,494
原材料及び貯蔵品	43,148	58,294
その他	59,364	84,731
貸倒引当金	△2,531	△2,809
流動資産合計	2,455,045	2,427,492
固定資産		
有形固定資産		
土地	871,590	871,590
その他(純額)	418,083	408,416
有形固定資産合計	1,289,673	1,280,006
無形固定資産		
その他	132,219	125,297
無形固定資産合計	132,219	125,297
投資その他の資産		
その他	380,389	396,742
貸倒引当金	△7,225	△7,348
投資その他の資産合計	373,163	389,394
固定資産合計	1,795,056	1,794,697
資産合計	4,250,101	4,222,190
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	893,927	909,743
短期借入金	805,772	805,772
未払法人税等	30,103	9,868
賞与引当金	—	41,397
その他	316,156	279,955
流動負債合計	2,045,959	2,046,735
固定負債		
長期借入金	16,431	14,988
役員退職慰労引当金	54,493	57,412
その他	68,572	82,502
固定負債合計	139,496	154,902
負債合計	2,185,456	2,201,638

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年 5 月20日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成23年 8 月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	294,675	294,675
資本剰余金	259,675	259,675
利益剰余金	1,531,069	1,487,511
自己株式	△20,929	△20,929
株主資本合計	2,064,489	2,020,932
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	155	△380
その他の包括利益累計額合計	155	△380
純資産合計	2,064,645	2,020,552
負債純資産合計	4,250,101	4,222,190



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年5月21日 至平成22年8月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年5月21日 至平成23年8月20日)
売上高	2,155,893	2,071,564
売上原価	1,619,271	1,542,656
売上総利益	536,621	528,907
販売費及び一般管理費	542,637	552,771
営業損失(△)	△6,015	△23,864
営業外収益		
受取利息	55	36
受取配当金	470	550
受取家賃	392	1,073
受取手数料	221	258
その他	460	1,007
営業外収益合計	1,600	2,926
営業外費用		
支払利息	3,514	2,698
その他	779	1,036
営業外費用合計	4,293	3,735
経常損失(△)	△8,709	△24,673
特別利益		
保険解約益	708	—
特別利益合計	708	—
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,659	—
投資有価証券評価損	—	263
特別損失合計	1,659	263
税金等調整前四半期純損失(△)	△9,660	△24,936
法人税、住民税及び事業税	15,276	9,212
法人税等調整額	△14,930	△16,052
法人税等合計	346	△6,840
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△10,006	△18,096
四半期純損失(△)	△10,006	△18,096

## 四半期連結包括利益計算書

## 第 1 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成22年 5 月21日 至 平成22年 8 月20日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 5 月21日 至 平成23年 8 月20日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△10,006	△18,096
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,517	△535
その他の包括利益合計	△1,517	△535
四半期包括利益	△11,523	△18,631
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△11,523	△18,631
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第 1 四半期連結累計期間(自 平成22年 5 月21日 至 平成22年 8 月20日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	サプライ事業	ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,096,313	59,579	2,155,893	—	2,155,893
セグメント間の内部売上 又は振替高	162	1,267	1,429	△1,429	—
計	2,096,475	60,847	2,157,322	△1,429	2,155,893
セグメント損失(△)	△5,664	△2,903	△8,568	△141	△8,709

(注) 1 セグメント損失の調整額は、全額セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整を図っております。

II 当第 1 四半期連結累計期間(自 平成23年 5 月21日 至 平成23年 8 月20日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	サプライ事業	ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,003,273	68,290	2,071,564	—	2,071,564
セグメント間の内部売上 又は振替高	—	72	72	△72	—
計	2,003,273	68,363	2,071,636	△72	2,071,564
セグメント利益又は 損失(△)	△28,025	3,352	△24,673	—	△24,673

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整を図っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。